

市川レポート (No.335)

アセットクラスの年間ランキング (2008年～2012年編)

- 2008年の金融危機発生時は、国債や投資適格債が選好され、株式やリートは大幅に下落した。
- 日米欧中銀の流動性供給で2009年に株式やリートは急反発、その後の欧州債務危機も克服。
- 2010年から積み上がった過剰流動性は低金利環境を生み、アセットクラスの下落幅を緩和した。

2008年の金融危機発生時は、国債や投資適格債が選好され、株式やリートは大幅に下落した

今回のレポートでは、主要アセットクラスについて過去数年分のパフォーマンスを検証し、年間ランキングにまとめます。併せて各年の重要イベントを振り返り、市場環境の変化がアセットクラスに及ぼす影響を整理します。2017年の金融市場は、トランプ次期大統領の政策次第で大きく変動する可能性があり、各アセットクラスを展望するにあたって、事前にパフォーマンス特性を把握しておくことは有効と思われます。

2008年から2012年までの年間パフォーマンスのランキングは図表1の通りです。2008年はリーマンショックを機に金融危機が発生し、市場は一気にリスクオフ（回避）に傾きました。アセットクラスでは、国債や投資適格債が相対的に選好され、株式やリートなどのリスク資産は大幅に下落しました。こうしたなか主要国の中央銀行は積極的に金融緩和を行い、市場の安定と景気の下支えに努めました。

【図表1：主要アセットクラスの年間パフォーマンス】

年	2008年		2009年		2010年		2011年		2012年	
主な出来事	米リーマン破綻 (9月)		ギリシャの財政粉飾が発覚 (10月)		ギリシャ向け第1次金融支援 (5月) 欧州金融安定メカニズム (EFSM) と欧州金融安定基金 (EFSF) 設立決定 (5月)				ギリシャ向け第2次金融支援 (3月) 欧州安定メカニズム (ESM) 設立 (10月)	
1	世界国債	8.9	新興国株式	62.3	世界リート	20.9	世界国債	6.1	世界リート	23.7
2	世界投資適格社債	-4.7	世界ハイイールド債券	60.6	コモディティ	17.4	世界投資適格社債	5.2	世界ハイイールド債券	18.8
3	世界ハイイールド債券	-27.1	世界リート	27.2	世界ハイイールド債券	15.2	世界ハイイールド債券	3.1	新興国株式	17.0
4	コモディティ	-36.0	先進国株式	25.7	新興国株式	14.1	世界リート	2.0	先進国株式	15.7
5	先進国株式	-38.7	コモディティ	23.5	先進国株式	10.0	先進国株式	-5.5	世界投資適格社債	10.8
6	世界リート	-42.0	世界投資適格社債	16.3	世界投資適格社債	7.4	コモディティ	-8.3	世界国債	4.4
7	新興国株式	-45.9	世界国債	0.9	世界国債	3.6	新興国株式	-12.7	コモディティ	-3.4

(注) 左端の数字はパフォーマンスの良い順に並べた順位。各年の数字は年間の騰落率。世界国債、世界投資適格社債、世界ハイイールド債券はBofAメリルリンチ算出の指数。コモディティはロイター/ジェフリーズ国際商品先物指数。世界リートはS&P世界リート指数。先進国株式はMSCI先進国株価指数。新興国株式はMSCI新興国株価指数。コモディティは米ドル建てリターン、その他は現地通貨建てトータルリターン。

(出所) Bloomberg L.P.、S&Pのデータおよび各種資料を基に三井住友アセットマネジメント作成

日米欧中銀の流動性供給で2009年に株式やリートは急反発、その後の欧州債務危機も克服

100年に一度と言われた金融危機でしたが、日米欧の中央銀行が資産買い入れなどの非伝統的金融政策を通じて巨額の流動性を市場に供給した結果、主要株価指数は2009年3月頃には底を打って上昇に転じました。2009年の年間パフォーマンスをみると、2008年とは対照的に株式やリートが急騰し、国債や投資適格債は伸び悩みました。このように金融危機のアセットクラスへの影響は、わずか1年程度だったことが分かります。

ただその後も危機は続きます。2009年10月にギリシャで財政データの粉飾が発覚したことを機に、欧州債務危機が発生しました。財政赤字を抱えるギリシャやスペインなどの国債が下落し、それらを保有する金融機関への信用不安が一気に強まりました。日米欧の中央銀行は流動性供給の拡大を余儀なくされ、2度にわたるギリシャ向け金融支援（2010年5月、2012年3月）や欧州安定メカニズム（ESM）の設立（2012年10月）を経て、危機は終息しました。

2010年から積み上がった過剰流動性は低金利環境を生み、アセットクラスの下落幅を緩和した

日米欧の中央銀行による非伝統的金融政策は、金融危機と欧州債務危機の解決に大きく貢献しました。ただその結果、金融システム内に巨額の過剰流動性が積み上がり、世界的な低金利環境を生み出しました。投資マネーは次第に利回りを追求する動きが顕著になり、2010年から2012年の年間パフォーマンスをみると、リートやハイールドが選好されていることが分かります。

2010年から2012年は、金融市場が欧州債務危機に揺れた時期でした。それにもかかわらず、各年のアセットクラスが総崩れとならなかった点は、2008年とは大きく異なる点です。この違いは過剰流動性の有無に起因し、2008年当時は過剰流動性が存在していませんでした。その後積み上がった過剰流動性は、低金利環境を生み出すと同時に、欧州債務危機に対するアセットクラスの下落幅を緩和してきたと考えられます。

- 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものであり、投資勧誘を目的として作成されたもの又は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 本資料の内容に関する一切の権利は当社にあります。本資料を投資の目的に使用したり、承認なく複製又は第三者への開示等を行うことを厳に禁じます。
- この資料の内容は、当社が行う投資信託および投資顧問契約における運用指図、投資判断とは異なることがありますので、ご了解下さい。

三井住友アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会